

大学院理工学研究科RA研究発表会

Poster session, 'RA' Graduate School of Science and Engineering, CHUO UNIV.

日 時	2023年12月8日(金)	
	15:30~16:30	16:30~18:00
	ポスター展示(自由見学) *15:30~ Coffee Time	ポスターセッション(発表者全員参加) *17:00~ Light Meal
共 催	中央大学大学院理工学研究科・中央大学理工学研究所	
場 所	中央大学後楽園キャンパス 3号館 14階 セミナールーム A・B	
発表方法	ポスター展示及びポスターセッションにより発表を行います。	
参 加	参加無料。ご自由にお入りください。	
問合せ先	中央大学研究支援室 TEL(03)3817-1602・1678/ FAX(03)3817-1677	

◇17:00 ご挨拶 ◆理工学研究所長 大隅 久 ◆研究開発機構長 石井 洋一	◇18:00 ご挨拶 ◆理工学研究科委員長 梅田 和昇
---	--------------------------------

専攻	RA氏名	『研究テーマ』	研究代表者
数学	1 山崎 雄一郎	Multiple weight variety の体積関数とコホモロジー環について	高倉 樹
物理学	2 岡林 史憲	Phase transition of moving defects in AdS/CFT Correspondence	中村 真
	3 郭 凱華	ゲージ・重力対応とその応用	
	4 須寄 颯	現象論的に拡張された南部後藤作用をもちいたホログラフィックな揺らぎと応答の不等式	
	5 山鹿 汐音	Evolution of entanglement entropy in two-dimensional free-fermion system via dimensional reduction	土屋 俊二
都市人間環境学	6 倪 稚茗	新たな非接触型電気防食技術に関する研究	大下 英吉
	7 高良 圭	ベトナム中部の洪水被害低減に向けた氾濫解析	手計 太一
	8 並河 奎伍	宇宙線ミュー粒子を用いた河川堤防内部の新しい探査手法の提案	
	9 島田 良	画像解析を用いた波の遡上高の観測手法の提案	小峯 力
	10 石井 崇晃	ブロック画像の畳み込みニューラルネットワークによる処理水濁度の高信頼度予測モデルの開発	山村 寛
	11 榎本 容太	地盤と流体の複合現象のメカニズムの解明及び数値シミュレーションの高度化	有川 太郎
12 白井 知輝	熱帯低気圧予測に最適化された高解像度全球大気海洋結合モデルの構築		
精密工学	13 金子 完治	振動が誘起する混合を用いたナノ粒子検出および定量手法	鈴木 宏明
	14 伊藤 文臣	キャビテーションによる衝撃波を利用したシャコの動作を規範とした打撃機構の開発	中村 太郎
	15 澤橋 龍之介	装着型力覚提示装置によるVR空間を用いた身体の空間的・時間的拡張における認知機能の解明	
	16 HUANG ZHITAI	Preparation of size-controlled monodisperse DNA gels using vibration-induced flow	鈴木 宏明
	17 宋 錦嵐	機械学習と有限要素法を用いた複合・階層構造体の力学設計と衝撃吸収材料の開発	米津 明生
応用化学	18 今泉 暁	モレキュラープリカーサーを用いた機能性無機構造の合理的構築	張 浩徹
	19 古屋 翔平	不斉1,3-双極子環化付加反応に基づく2,5-cis/transピロリジンの立体多様性合成	福澤 信一
経営システム工学	20 柳下 翔太郎	Azéma-Yor martingale の一般化について	藤田 岳彦
電気・情報系	21 Nguyen Minh Duc	誘電体楔による電磁波の高周波近似解析手法の開発	白井 宏
	22 Bui Manh Coung	複数の方形窓をもつ建築物による電磁波散乱	
	23 余 躍海	四方形基板におけるゾルゲル電気泳動により作製した種々のTiO ₂ /CNT複合薄膜電極の光触媒活性	松永 真理子
	24 加藤 恩妃	深層学習を用いた多様な霧強度画像に対応する霧除去	久保田 彰

RA(リサーチ・アシスタント)制度は、中央大学が主体的に行う共同研究プロジェクトの研究活動の補助業務を行い、研究活動の強化・充実を図り、併せて大学院生の研究能力の向上に資するものです。理工学研究所・研究開発機構研究発表会と同時に開催し、後楽園キャンパスでの研究成果を一同に会した発表の場となります。お気軽に会場までお越し下さい。